

2025 滋賀国民スポーツ大会 選手選考について

1. 参加人員（国スポ参加規定より抜粋）

（１） 監督 2 名，選手 29 名（男子選手 19 名以内，女子選手 19 名以内）計 31 名以内で編成する。

（２） 出場制限

ア 1 種目 1 名，同一人の出場は 2 種目までとする。ただし，リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし，1 種目の予選のみに出場し，その種目の代表となった者は，予選に出場しなかった他の 1 種目にも出場できる。

ウ 4×100m リレーの編成は，男女とも成年，少年 A，少年 B から各 1 名，残りの 1 名は成年，少年 A，少年 B のいずれかの種別から選出するものとし，計 8 名以内で申し込むこと。

エ 男女混合 4×400m リレーの編成は男女 2 名ずつとし，合計 8 名以内で申し込むこと。男女とも少年 A もしくは少年 B から各 1 名，残りの男女各 1 名は成年，少年 A，少年 B のいずれかの種別とする。なお，走順は男子－女子－男子－女子とする。

オ リレーに出場する者は，予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。

カ 成年女子 10000m 競歩の出場者は，5000m 競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子 A 5000m 競歩，少年女子 A 5000m 競歩の出場者は，10000m 競歩または 3000m 競歩，いずれかの予選会を経た者でもよい。

キ 成年男子 3000m 障害には，少年男子からもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年男子または少年男子，いずれかの 1 名のみとする。

ク 成年女子走高跳には，少年女子からもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年女子または少年女子，いずれかの 1 名のみとする。

ケ 成年女子棒高跳には，少年女子からもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年女子または少年女子，いずれかの 1 名のみとする。

コ 少年男子 B 3000m の出場者は，1500m の予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子 300m・少年男子 A 300m・成年女子 300m・少年女子 A 300m の出場者は，100m，200m，400m いずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子 A 300m ハードル及び少年女子 A 300m ハードルの出場者は，200m，300m，400m，110m ハードル/100m ハードル，400m ハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

※当該種目の公認記録がない場合は，資格記録なしとして番組編成を行う。

※リレーの番組編成について，男子 4×100m リレーは前年の天皇杯の点数から皇后杯の点数を引いた順位，女子 4×100m リレーは前年の皇后杯順位，男女混合リレーは前年の天皇杯順位をもとに番組編成を行う。

2. 選手選考について

(1) 参加資格取得競技会

県記録会・南日本中学・県高校総体・通信陸上・県選手権・県中学総体

ただし、JOCトップアスリートなどの国スポ参加資格の特別措置対象者は選考の対象とする。

(2) 選考基準

選考においては、2025年4月1日からの記録を有効とし、国スポ資格取得競技会の成績と、国スポ標準記録・ランキング等を参考に、県選手団が好成績を残せるよう総合的に判断し選考する。

※成年の部は、日本選手権・各グランプリ・実業団大会・学生選手権・日本ランキング上位者などを中心に、ふるさと制度も活用し選考する。

※少年A・少年共通種目については、全国高校総体・南九州地区予選会・県高校総体の結果を重要視する。同一種目において候補者が複数名いる場合は、全国高校総体の結果を最重要視する。

※少年B種目においては、国スポ参加資格取得競技会の結果をもとに選考する。

(3) 選考

8月上旬の鹿児島陸上競技協会の常務理事会で候補選手を内定する。

(8月下旬に鹿児島陸上競技協会ホームページに掲載する)

正式には鹿児島県スポーツ協会の資格審査を経て、9月上旬に鹿児島県代表選手に決定する。